

令和4年度 住まい環境整備モデル事業  
【課題設定型・事業者提案型】  
**提案内容の概要**

**事業名称：エステ・シティ船橋コミュニティセンター  
リニューアルプロジェクト**

～いつでも誰もが気軽に立ち寄れるみんなの居場所づくり～

**代表提案者：エステ・シティ船橋管理組合**

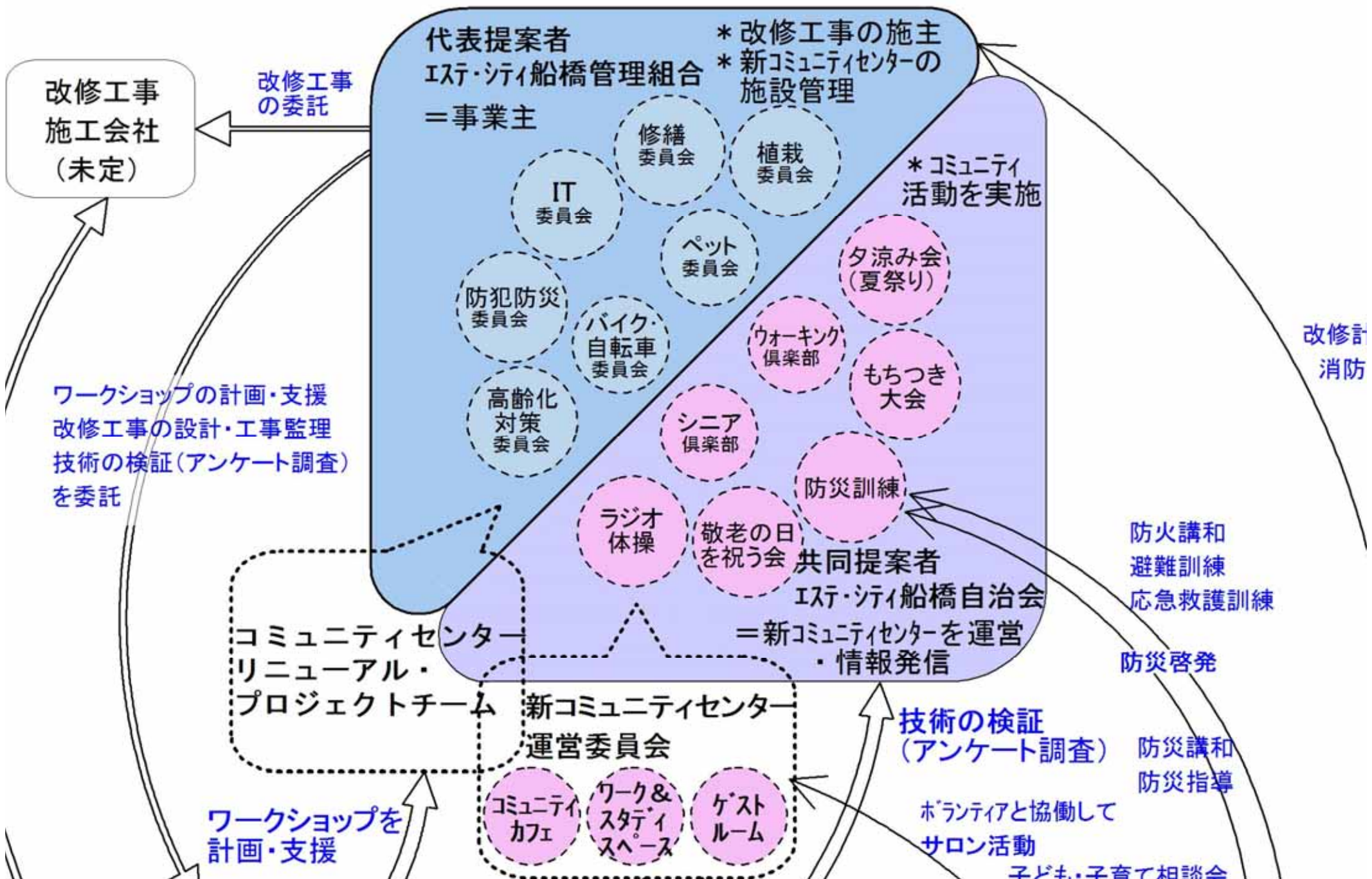
**共同提案者：エステ・シティ船橋自治会**

**設計者：株式会社 栗原研究室**



# 1. これまでの取組

図：事業実施体制（様式3-1）より抜粋



# 1. これまでの取組

## 2010～2017 【エントランス改修工事】

5棟のエントランスホールの機能付加・安全性向上を図る改修工事を実施。

## 2017～2019 【浄化槽跡地再利用プロジェクト】

不使用となった浄化槽をコミュニティセンター機能の拡張に利用する計画を進めた。（コミュニティセンター改修事業を優先）

## 継続取組 【住民の自主活動をより活発にする】

2大イベント〈夕涼み会〉〈もちつき大会〉には近隣住民も参加。  
+ 〈敬老の日を祝う会〉などを実施。



## 2. 現状・問題意識

---

課題 1 : 住民だれもが気楽に利用でき、居場所となるところが身近になく、日常的な交流の場がないこと

郊外に立地しているため、特に高齢者はこもりがちに

課題 2 : 高層の集合住宅には災害時の不安がありながら、団地内の避難所が十分に整備されていないこと

共用施設（コミュニティセンター）は避難所として多くの問題あり

### 3. 提案内容

## 住民による住民のためのコミュニティセンターづくり

住民有志による「コミセンリニューアル・プロジェクトチーム」はワークショップおよび設計検討会で計画を練り、固めました。



### 3. 提案内容

「施設整備」のポイント： 1

## 毎日オープンしているコミュニティカフェをつくろう

目標 <誰もが立ち寄りやすく>

<自主運営で毎日開店>

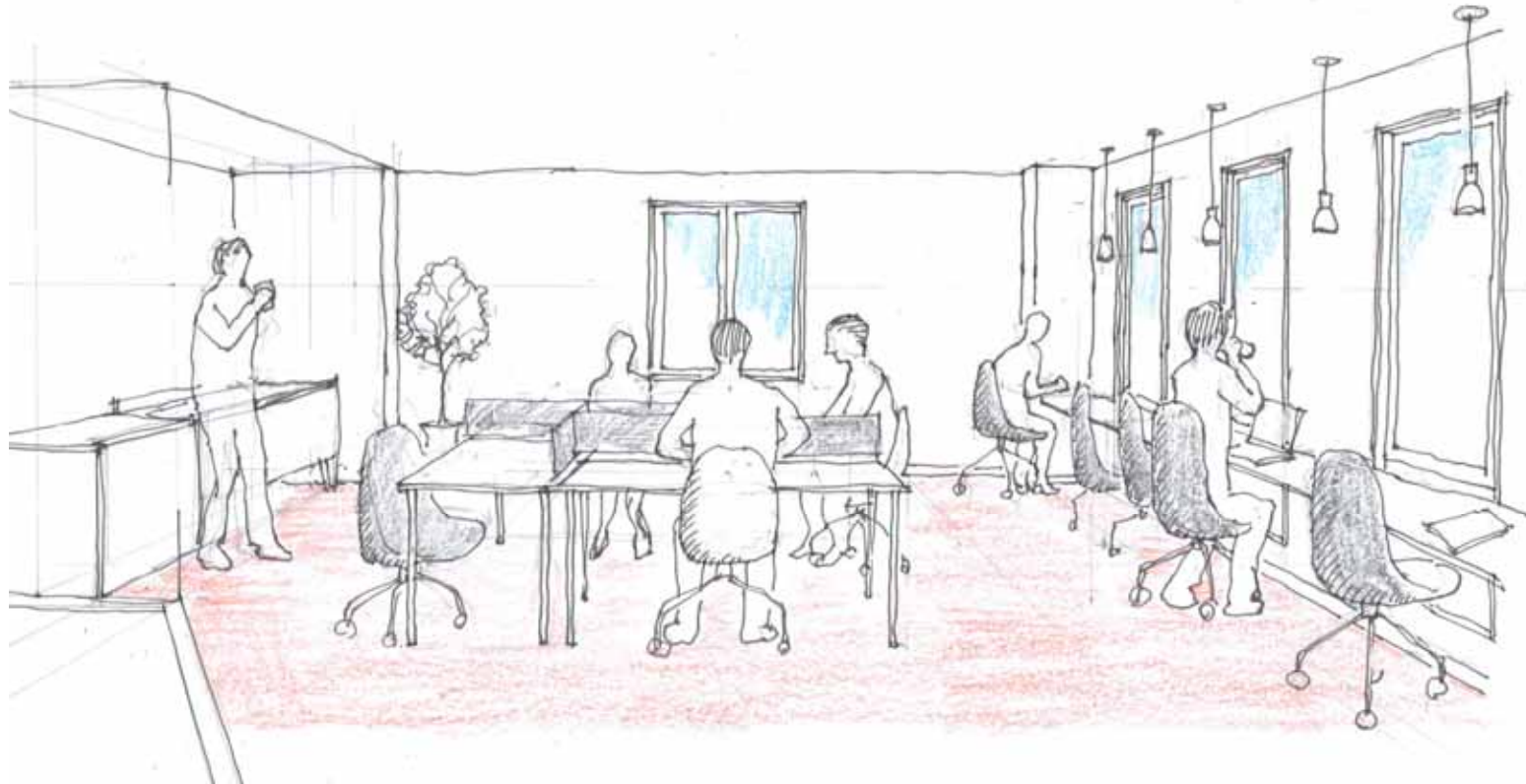
<見守り・安否確認に活用>



### 3. 提案内容

「施設整備」のポイント：2

**仕事や学習ができる場所、  
ワーク&スタディースペースをつくろう**  
目標〈働く人・学ぶ人の居場所を〉



### 3. 提案内容

「施設整備」のポイント：3

## バリアフリーの施設にしよう

＜玄関は自動ドア、靴の履き替えなしに＞

＜どんな人も使いやすいトイレとし、災害時対応を強化＞





### 3. 提案内容

「施設整備」のポイント：4

**避難所として必要な設備をもうけ、ゲストルームにも  
利用しよう**

＜2階の和室まわりにトイレとシャワーを＞



## 4. 期待される効果

### 事業効果（直接効果）

#### 1. 日常的な居場所

近隣住民にも気軽に立ち寄れる居場所、情報交換の場ができ、特に高齢者の孤立化の防止や認知症の発症を低減

#### 2. 災害時の避難場所

避難場所として整備することにより、安心を高める

### 波及（普及）可能性効果

#### 1. 地域に開かれた居場所

⇒孤立させないまちづくり

#### 2. 多世代交流拠点

住民主体のモデルケースに

#### 3. 大災害を考慮した 共用施設

特にトイレ対策のモデルケースに

## 5. 検証方法

---

1. **運営委員会を立ち上げ、1年後には利用者3倍（目標）に**
2. **利用者の把握：利用者の人数・年齢を記録する**  
⇒検討材料に
3. **利用満足度とニーズを把握：1年後にアンケート調査調査**  
⇒満足度やニーズを把握し、改善へ